

令和5年度事業報告

<情報提供事業>

○楽しい子どもニュース 「アッタくん」の発行

毎月発行で212号から223号まで計12回発行した。イベントの告知や報告だけでなく、スタッフの紹介を載せたり、地域で活躍されている方やB-Net子どもセンターに関わる地域の方々を紹介したりすることができた。4月より、小学校への紙での配布からマチコミでの配信形式へと移行したが、認知度の低下や保護者からの希望もあり、紙配布へと提供形態を戻した。

現在、町内2つの小学校(酒々井小学校、大室台小学校)、スーパー(ナリタヤ、SEND0、タイヨー)、JR酒々井駅、公共施設(酒々井町役場、酒々井町中央公民館、プリミエール、社会福祉協議会)、まがりや、順天堂大学などに配布させていただいている。

内 容	実施日	収 入	支 出	
情報紙 楽しい子どもニュース 「アッタくん」の発行	毎月1回300部発行 (1月より1300部)	0	情報紙用紙代	11,265
			印刷代	12,240
		0	合計	23,505

○ホームページの運営

内 容	実施日	収 入	支 出	
インターネット Instagram Twitter	随時	0	アサヒネット	56760

○B-Net 掲示板

B-Net子どもセンターのフェンスに設置しているB-Net掲示板を活用し、イベントの告知や町のイベントのポスターを掲示した。B-Netの活動に参加して下さっている子どもの保護者だけでなく、地域の方々に情報を提供することができた。

しかし、経年劣化に伴いフェンスの破損が目立ったため、掲示板及びフェンスの撤去を行った。新たな掲示板は助成金により購入済みだが、自力での取り付けが困難であるため、未使用のままである。令和6年度では早急に取り付け、活用して行きたい。

<子育て支援事業>

子ども教室「アッタくん」やイベントに参加する子どもたちから、年間登録料として2,000円（子ども教室運営費1,200円、年間保険料800円）を徴収した。登録者数は23人であった。保険はスポーツ安全保険で、活動中、通常経路往復中の事故に対応し、保険期間令和5年4月1日から令和6年3月31日まで適用され、保険加入者数は31人であった。

		収入	支出
B-Net 登録人数	23人	27,600	
スポーツ安全保険加入	31人	24,800	24,800
スポーツ安全保険加入スタッフ	37人		63,200
合計		52,400	88,000

§ 自然体験・文化体験・宿泊体験

本事業では B-Net スタッフが企画立案したイベントに地域の子ども達に参加することで、子どもたちの新たな気付きや集団生活での自己の成長などを図っている。自然を感じることでできる農業体験や季節・地域の特色に基づいた文化に触れること、家庭から離れ自律行動を促す宿泊体験などを行ってきた。普段関わることのない、異なる小学校の人や B-Net スタッフ、地域の方など子どもたちにとって幅広い交流ができ、新たなコミュニティの開拓にもつながった。また、我々スタッフにとっても交流の場として重要な役割を担っており、成長できる場として今後とも力を入れていきたい活動である。令和5年度はこれまでの募集人数より多くの募集を受け入れる体制を作り、さらなる事業の拡大に努めてきた。規模の拡大にはリスクも伴うが、より多くの子どもたちに知ってもらうことで我々自身の成長にもつながるため尽力していきたい。そのため、イベント募集時の告知を現在行っているものだけではなく、放課後子ども教室や子ども食堂など子どもたちが集まる場にてスタッフが直接告知を行うことが良いと考えられる。

4月の筍掘り、5月と9月の田植え、稲刈り、7月の料理教室、5月・11月の苗植え、芋掘り、12月のクリスマス、1月のお正月、2月の星空合宿は、子どもゆめ基金から助成金をいただくことができた

《子どもゆめ基金助成金事業》

内 容	参加人数	収 入	支 出	収支
TAKENOKO×HUNTER 4月23日 筍掘り 場所：里山	助成金 参加 小学生 27人 幼 児 2人 保護者 5人 スタッフ 23人	38,696 19,100	47,796	10,000
酒々井米ンクラフト 5月13日 田植え 9月10日 稲刈り 場所：根古谷	助成金 田植え参加 小学生 13人 幼 児 1人 保護者 2人 稲刈り参加 小学生 13人 幼 児 1人 保護者 1人 スタッフ 19人+9人	70,889 15,650	99,305	-12,766
レッツゴー！芋ほり隊！ 5月27日 芋の苗植え 11月3日 芋掘り 場所：里山	助成金 苗植え参加小学生 9人 幼 児 1人 保護者 1人 スタッフ 芋掘り参加者小学生 29人 幼 児 4人	74,144 24,480	88,624	10,000

	保護者 2 人 スタッフ 12 人+18 人			
B's キッチン 6月25日 のり巻き 場所：公民館料理室	助成金 参加小学生 24 人 スタッフ 12 人	31,722 13,040	38,603	6,159
メリー酒々井マス！！ 12月18日 クリスマス 場所：酒々井小学校体育館	助成金 参加 小学生 21 人 スタッフ 12 人	33,909 11,670	41,069	4,510
ふるい辰年にしよう！お正月イ ベント 2024 1月8日 正月 場所：B-Net 子どもセンタ	助成金 参加小学生 26 人 スタッフ 15 人	28,778 14,560	33338	10,000
B-Net 星空探検ツアー 2月11～12日 場所：小見川少年自然の家	助成金 参加 小学生 30 人 スタッフ 25 人	163,224 151,690	304,914	10,000
	子どもゆめ基金合計 参加費、保険料など	441,362 250,190		

※収入の上段は子どもゆめ基金からの助成金で、芋ほり、クリスマス、お正月、星空合宿は確定されていないので変更有り。

《その他事業》

内 容	参加人数	収 入	支 出	収支
肝試し 7月30日 場所：総合公園	参加小学生 27 人 スタッフ 27 人	10,180	5,882	4,298
体操教室 10月15日 場所：大室台小体育館	参加小学生 16 人 スタッフ 21 人	8,260	240	8,020
ハロウィン 10月29日 場所：酒々井小体育館	参加小学生 23 人 幼 4 人 スタッフ 22 人	14,190	12604	1586
B-Net 大運動会 3月16日 場所：酒々井小体育館	参加小学生 33 人 幼 児 7 人 スタッフ 21 人	20,200	7204	12996

○ B-Net 子ども教室 アッタくん

本年度の B-Net 子ども教室は「学校や家庭とは異なる第三の居場所として、安心・安全で楽しい環境をつくる」ということを目標に活動を行ってきた。近年、大幅な登録人数減少が課題とされたが、今年度は昨年度よりさらに参加人数も増加し、一年間を通して参加人数は 459 人(平均 15 人)ほどであった。参加してくれた子どもも年度初めからいた子や、年度の途中から参加してくれた子なども学年に関係なく互いに協力し、助け合いながら楽しく活動していた。また、子ども同士で声を掛け合い、屋内で過ごすことの多い子どもが外で遊ぶことが増えたなど子どもたちの間で厚い友情関係が生まれ、子どもたちの成長を強く感じる事ができた。特に今年度卒業した 6 年生の成長が目覚しく、新しい 1 年生とも積極的にコミュニケーションをとり理想的な関係性を築いていた。

良い環境ではあったが、より安全で楽しく時間を過ごすために、以下のことが課題にあげられる。

○アッタくんでの既存のルールの改善をし、子ども・スタッフ共に理解し共有すること。

○随時スタッフが足りていないことが顕著に表れ、子どもたちへの不満につながっていること。

○用具や自身の荷物の整理整頓

以上の改善点を基にさらなる環境改善に努めていきたい。

毎週木曜日放課後から 17 時まで

場所：B-Net 子どもセンター

《活動写真》



○酒々井町放課後子ども教室

新・放課後子ども総合プランとは放課後に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、各区市町村において、文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と、厚生労働省の「放課後児童健全育成事業（児童クラブ）」を一体的あるいは連携して実施する、総合的な放課後対策事業のことで地域の方々からのご協力を得て、勉強やスポーツ、文化活動を行い、他学年の児童や地域住民との交流などを目的とした活動である。

平成 19 年 10 月から酒々井町で放課後子ども教室事業が始まった。平成 20 年より町から委託され、企画・運営を行ってきた。

放課後子ども教室には地域で子どもを育てる社会教育の役割がある。地域の方を中心とした安全監視指導員と学生スタッフの併存した教室運営により、社会教育に厚みをもたせ、保護者、児童どちらのニーズにも広く対応することができた。さらに、今年度も地域の方々にとくさんの教室を開いていただき、充実した体験活動を提供することができたと思う。

令和 5 年度は新型コロナウイルスが落ち着いていたこともあり、通年にわたって開催された。アルコール消毒や検温、マスク、パーティションなど様々な感染対策を徐々に取り払いながら活動することが出来た。

今後も子どもたちに様々な体験・経験をしてもらえるよう、またより充実した放課後の時間の提供に尽力し、さらに安全に配慮しながら運営していきたい。

例年、放課後子ども教室参加者(子ども、保護者、教職員、指導員)を対象にしたアンケートを実施していたが、コロナ禍で十分できない状態が続いていた。令和 4 年度は放課後子ども教室便りにアンケートの QR コードを記載し回答を募ったところ、両校合わせて 2 件しか回答が得られなかった。そのため令和 5 年度は紙媒体と web 回答のハイブリット型にて行ったところ多くの回答が得られた。

【活動日時・場所】

- 酒々井小学校（主に体育館・ランチルーム・多目的ルーム）
毎週火曜日放課後～午後 16 時 30 分まで（11, 12, 1 月は 16 時まで）
- 大室台小学校（主に体育館・大ちゃんルーム・校庭）
毎週月曜日放課後～午後 16 時 30 分まで（11, 12, 1 月は 16 時まで）

小学校	内 容
酒々井小学校	開催日数 29 回、参加人数のべ 934 人(内、しすいっ子 252 人) 折り紙教室、書道教室、篠笛・昔遊び教室、スクエアダンス教室、将棋教室、マジック教室、体操教室、造形教室
大室台小学校	開催日数 22 回、参加人数のべ 697 人(内、大ちゃん 399 人) 卓球教室、折り紙教室、書道教室、篠笛・昔遊び教室、スクエアダンス教室、将棋教室、マジック教室

<町づくり等事業>

○B-Net 子ども食堂

昨年度に引き続き今年度も、B-Net 子ども食堂を B-Net 子どもセンターを開催場所として行った。実施の背景として、近年の子どもの貧困化、それによる子どもの孤食問題がある。これらの問題の解決のため 2012 年より、子ども食堂は全国で急激に増加しており、子どもの貧困問題は酒々井町も例外ではない。しかし、酒々井町に子ども食堂はなかった。そこで、酒々井町の貧困層の子どもたちに温かく人と食べる食事を届けるべく、B-Net 子ども食堂を実施した経緯である。

実施日が原則第 1・3 金曜日の月二回とし、祝日は休みとした。実施形態はテイクアウトとイートインの併用にて行い、イートインの利用者も出てきている。食事代は、子どもは無料、大人は 200 円とした。

令和 5 年度は、酒々井町社会福祉協議会、さかえ・しすいワークサポートセンターをはじめ、地域の方々から多くの食材の提供をしていただくことができた。また、キューピーみらいたまご財団、オリックス宮内財団、県から助成金を受取ることができた。

毎回多くの参加者に来場していただき、協力してくださる方々には感謝の意を申し上げます。令和 5 年度は、これまで懸念されていた新型コロナウイルスによる規制も緩和され以前と変わらない形態での開催ができた。しかしながら、スタッフがその以前の形態に慣れておらず、イートイン利用に対して正しい対応が出来ているか分からない部分もあった。本来の目的である「食事を人と共にする空間の提供」に対してより積極的にアプローチしていくことが次年度以降の課題である。

子ども食堂の状況

	回数	子ども	大人	合計	食事代
令和 4 年度	24 回	399 人	396 人	795 人	115,835 円
令和 5 年度	24 回	564 人	457 人	1,021 人	128,129 円
前年度比	±0%	141%	115%	128%	110%

収入合計	860,629 円	支出合計	860,629 円
助成金	720,000 円	食材費	320,000 円
食事代	128,129 円	光熱費	66,000 円
寄付金	12,500 円	季節のイベント	16,201 円
		消耗品	458,428 円

収支 0 円

○助成金内訳

キューピー未来財団助成金	320,000
公益財団法人オリックス宮内財団	300,000
千葉県子ども食堂物価高騰対策支援給付金	100,000

○エコトピア酒々井（特別養護老人ホーム）での健康体操教室

エコトピア酒々井で例年毎月1回のペースで健康体操教室を行ってきた。しかし、新型コロナウイルスの影響で昨年度から1度も開催することが出来ず、徐々に活動意欲が薄れてきてしまっている。今後、再度活動するための目途を立てるのか、一度完全に終了するのか検討することが望ましい。

○イオン黄色いレシートキャンペーン（成田イオン）

黄色いレシートキャンペーンとは、イオンデー（毎月11日）にイオンで買い物をする際に出る黄色いレシートを登録している団体のボックスに投函すると、総額の1%がその団体に贈られるというものである。10月に5年度前期分16,200円いただき、翌年度4月に後期分14,100円をいただいた。前期分はアツタくんでの遊び用具、文房具を購入し、後期は文房具などを購入した。

